

もみじ

—広島県山岳連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

平成 30 年臨時総会開催(1 月 7 日)

「広島県山岳・スポーツクライミング連盟」に 名称変更

新春 1 月 7 日、宮島での新年互例登山から下山後、17 時から「ホテルセンチュリー 21 広島」で臨時総会を開催し、今年 4 月 1 日から、「一般社団法人 広島県山岳連盟」の名称を「一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟」に名称変更する議案が承認されました。

臨時総会は、山田会長が議長(定款第 18 条の定め)となり開会しました。まず、事務局から、(1) 議決権の個数と定足数について、(2) 名称変更は定款変更を伴うため、2/3 以上の特別多数決による承認が必要なこと、(3) 議案の内容とこれまで山岳連盟の取組内容、の説明がありました。次に、出席者から賛成、反対、それぞれの意見が聴取されました。反対意見は、出席者の中にはなかったため、書面で意見表明をしていた会員の意見が読み上げられました。そして、採決、書面で賛否を表明した会員、委任状を提出した会員を含め、賛成議決権個数 215 個(人数は 30 名)、反対議決権個数 11 個(人数は 2 名)で議案は承認されました。

この名称変更により、広島県山岳連盟が、「登山」だけでなく「スポーツクライミング」も担っている団体であることが、対外的にわかりやすくなります。これからは、「登山」と「スポーツクライミング」を担

う団体として、組織内部や、一般登山者、愛好家への指導普及を推進していけるよう、みなさまからの、より一層のご支援、ご協力をお願いします。

議案は定款第 1 条の変更で内容は次の通りである。

定款第 1 条「この法人は、一般社団法人広島県山岳連盟と称する。」を

「この法人は、一般社団法人広島県山岳・スポーツクライミング連盟と称する。」に改める。この改正は、平成 30 年 4 月 1 日に施工する。

法人の名称変更は法務局で変更登記が必要です。4 月 1 日(日)は休日のため、この手続きは 4 月 2 日(月)以降となります。

提案理由

- 2020 年東京オリンピックでの「スポーツクライミング」の新規競技採用など、スポーツ界での情勢変化がある。
- これを受けて、中央競技団体である「日本山岳協会」が「日本山岳・スポーツクライミング協会」に名称変更した。(平成 29 年 4 月)
- 日本国内では、中央競技団体(国別競技団体)である「日本山岳・スポーツクライミング協会」が県内では都道府県別競技団体である「広島県山岳連盟」が、国際競技団体「国際スポーツクライミング連盟」(IFSC)が定めた国際規則に基づくスポーツクライミング公認競技を運営することができる唯一の組織である。
- 人によって考え方に違いはあるものの、組織としては、「スポーツクライミング」は「登山(山岳)」から派生したものであるとの認識であり、これまで、その考えのもと、「広島県山岳連

盟」が活動の 1 つとしていることが、一般的に理解されてお

らず、「スポーツクライミングを担う仲間」が、さまざまな場面で説明が必要となるなど、活動に支障をきたしている。

○このような状況の中で、一般の方々に対して、山岳連盟は「スポーツクライミング」を活動の 1 つとしていることを明確化することは、今後の組織の発展を考えた場合、得策であるとする式至った。

○以上のような理由から、**名称（看板）に「スポーツクライミング」の文字を加える事とする。**

なお、この名称変更により、これまで「スポーツクライミング」を含めた「登山」を活動としてきた「**広島県山岳連盟**」の活動が大きく変わるものではない。

「スポーツクライミング」の定義は、人によって考え方が異なり、自然環境の影響が大きく、その経験や知識が必要な、山岳地域における自然壁でのクライミングを含めるといふ捉え方もあるが、一般的な説明としては、これは「スポーツクライミング」から逆派生したものであり、都市部を中心とした人口壁でのクライミングを「スポーツクライミング」とすることを、組織運営上は捉えることとする。（遭難対策、指導員、組織内での業務分担の観点から）

フォト俳句

日の光 差し込む谷に 雪の声

俳句・写真 江種幸男（福山山岳会）



「比婆山国際スカイラン」の運営に

ご協力をお願いします

本年も 26 回目の比婆山国際スカイラン大会を開催します。よって、事前作業や本大会での各作業のご協力をお願いします。

※事前作業日程及び作業

1) 日 程

04月14日（土）～15日（日）

予備日04月21日（土）～22日（日）

作 業

コース内点検とコース案内（表示）板取り付け等

2) 日 程

05月12日（土）～13日（日）

作 業

走路コース整備及び使用備品チェック等

※集合場所・時間（各回同様）

比婆山スキー場・多目的ホール前 午前9時

※食 事

初日の昼食は各自持参・夜食と次朝食は、事務局で準備

※宿泊

スキー場管理棟の二階（寝具は各自持参）

岳連短信

1、ボルタリング施設 広島工大に完成

東京五輪施設

広島市佐伯区の広島工大に、突起物のある人口の壁をよじ登る「ボルタリング」の施設が完成し、6日、お披露目式があった。学生たちに体力と考える力を養ってもらおうと設置した。

高さ 4.5 ㍎、幅 12 ㍎の施設を体育館のステージに設けた。起伏に富んだ突起は難易度によって色分けされ、初心者や上級者向けのコースがある。4 月から、体育館の授業や山岳部の活動で使う。

ボルタリングはスポーツクライミングの種目の 1 つで、2020 年の東京五輪で採用される。式でテープカットした鶴衛学長は

「若者に注目のスポーツ。登り方を工夫する中で思考力も育まれる」と話した。国内外の大会で活躍する錦織美里選手 (19) = 西区 = が模範演技をした。(中国新聞 2018・1・7)

2、寄贈御礼

- ①筆影 455 号 2018 年 2 月
(三原山の会 会長 井本加世子)
- ②会報 平成 30 年 2 月
(福山山岳会 会長 大田佑介)

3、比婆山国際スカイラン

期日：2018(平成 30)年 5 月 20 日 (日) 雨天決行
場所：中央中国山地 比婆山連峰 ひろしま県民の森
(庄原市西城町)

種目：Aコース 18, 5 km
bコース 9, 0 km

時間制限：Aコースに限り制限時間を設けます。計測は 2 地点 (おっぱら越え 約 10,0 km 立烏帽子 駐車場約 11,6 km 地点) で 2 時間 30 分を超える者は、その時点で失格とします。

募集人員：A,B 合わせて 1000 名

大会日程：2018 (平成 30) 年 5 月 20 日 (日)
受付 (県民の森 多目的ホール内) 8:00~9:00
開会式・準備体操 9:30~9:45
Aコーススタート 10:00
Bコーススタート 10:30
閉会式 14:00 頃~

表彰：Aコース男子・女子 各 1・2・3 位

表彰者には優勝トロフィーと表彰状を贈ります

A,B コースの完走者に完走証を交付します

参加資格：Aコース 15 歳から 79 歳の健康な者で長距離競争や登山の経験がある者、またはこれと同等の体力・気力を有し完走できる者
Bコース 12 歳から 79 歳の健康な者で長距離競争や登山の経験がある者、またはこれと同等の体力・気力を有し完走できる者

参加料金：A/B コース 一般 5,000 円
中・高校生 3,000 円

申込期間 2018 年 1 月 5 日 (金) ~ 4 月 13 日 (金)

(消印有効)

参加賞有り

希望者にはお弁当 (1 個 800 円) を手配しますので、参加料金に加えてお申し込みください
(そのほかは「大会開催要項」をご覧ください。)

4、事故報告書(北海道幌尻岳事故)

2017 年 12 月 12 日

公益社団法人 日本山岳会広島支部

{事故概要・登山計画書・計画の策定と準備・事故発生状況と発生後の経過・気象の推移・問題点・対策・事故調査委員会 24 頁}

事業計画 2018・2

- 2・1 (木) 登山教室①②(11)机上 (三篠公民館)
2・3 (土) ~ 4 (日)
登山教室②(11) (大山六合尾根)
2・7 (水)
岳連例会山行(11) (江田島・クマン岳・古鷹山)
2・10 {土} ~ 11 (日)
積雪期レスキュー研修会 (比婆山)
2・10 (土) ~ 11 (日)
高体連県新人大大会 {もみの木森林公園}
2・18 (日) 県民ハイキング (マツダ山岳会) (天狗岩)
2・24 ~ 25 (土 ~ 日) 登山教室 (掛頭山 ~ 臥龍山)

比婆山国際スカイラン



比婆山スカイランスタート



冬山登山の警告文

山岳遭難が多発しています！！ もう一度点検 計画と対応力

冬の自然は厳しく、急変します。冬山経験豊富な信頼できるリーダーと、事故に対応できる力を持ったパーティーであることが必要です。

- 1、登山計画はパーティー全員でよく検討し、作成しましたか。
- 2、エスケープルート（万一の時の逃げ道）を考えていますか。
- 3、最近の気象情報を確認していますか。（携帯電話、ラジオ等）
- 4、応急措置のための知識と医薬品・器具は整えましたか。
- 5、雪崩に対する知識・心構えと装備は整えましたか。
- 6、緊急時の連絡手段は準備しましたか。（無線機、携帯電話などの予備バッテリーも忘れずに）
- 7、山岳保険の加入は済みましたか。
- 8、事故多発！登山予定の山で発生した過去の事故を確認しましたか。
- 9、条例等で入山が規制されている地域でないか確認しましたか。

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○メールで配信の場合、活字は 10,5 でお願いします。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

○「もみじ」87～170 総索引（2009・6・1～2017・12・31）を作成しました。

号数・発行年月日・当該頁数・主な記事となっています。「もみじ 172 別冊」として添付しています。

「もみじ」総索引（18 頁）は省略しています。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美

山の風景 82 聖湖 写真提供 森智昭（ひこばえ）

